

2026年度 新潟大学出前講義一覧

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)	職名	教員氏名	対応可能時期	対面対応可否	Zoom対応可否
				講義概要					
歯学部	1	全学年	基礎歯学	コラーゲンドリンクのサイエンス ◆コラーゲンはヒトの体の約30%を占める主要なタンパク質で、このうち約40%が皮膚に存在します。このコラーゲンを飲むということは、どういうことを意味するのでしょうか。高校生レベルの化学と生物の知識を応用して、コラーゲンというタンパク質の立場から、人体のしくみの一部を解説します。	教授	泉 健次	要相談	○	×
	2	全学年	臨床歯学	食べること、飲み込むこと ◆食べる機能は、口や歯の機能だけでなく多くの神経や筋が正しく働いて初めて営まれるものです。また、おいしく食べる機能は「食べて」「飲み込む」ことによって完結するものです。本講義では、これらの機能と障害について、分かりやすく説明します。	教授	井上 誠	要相談	○	○
	3	全学年	社会系歯学	健康寿命を支える保健医療制度 ◆世界有数の長寿国となった日本では、いかに健康で質の高い生活を送れる期間(健康寿命)を確保するかが重要になっています。本講義では健康寿命を延ばすための我が国の取り組みについて紹介します。	教授	大内 章嗣	要相談	○	○
	4	全学年	基礎歯学	顔と口の筋肉のしくみとはたらき ◆顔と口は、栄養と酸素を取り入れる消化器と呼吸器の入り口であるとともに、触る・嗅ぐ・見る・味わう・聞くための感覚器を備え、表情は生命・生活・人生と密接にかかわっています。本講義では、顔と口にある筋肉に焦点を当て、そのしくみとはたらきについて解説します。	教授	大島 勇人	要相談	○	○
	5	全学年	臨床歯学	「おっぱい」から「食べる」への発達 ◆ヒトの栄養補給の様式は出生直後の「おっぱい」から始まりますが、それが「食べる」に変化していきます。この機能の変化は学習によって自ら獲得するものです。これらについて実例を示しながら解説します。	教授	早崎 治明	要相談	○	×
	6	全学年	臨床歯学	超音波で口を視る ◆超音波診断はみなさんも聞いたことがあると思います。これまではお腹などの深い部分を主体に使われてきましたが、最近では技術の進歩で、浅いところもきれいに画像が得られるようになってきました。口の中や周りの細かな構造もかなり良く見えるようになってきていますので、そのご紹介をしたいと思います。	教授	林 孝文	要相談	○	○
	7	全学年	基礎歯学	インフルエンザ、コロナや薬の効かない感染症の話、そしてDNAや米を素材にした新薬開発の話 ◆むし歯や歯周病は、カゼと同様の感染症です。むし歯や歯周病の他にも、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症や風疹・麻疹(はしか)や抗生物質の効かない細菌等の感染症の諸問題について解説します。また、それら感染症の治療法やワクチン等の予防法(副作用や副反応を含む)について、正確で実践可能な知識を伝えます。さらに、遺伝子工学や米・植物を用いた新薬開発の研究についても紹介可能です。※ろう学校や特別支援学校での出前講義の経験があります。また、対面/オンライン講義も可能です。	教授	寺尾 豊	要相談	○	○
	8	全学年	臨床歯学	健康なお口とともに健やかに生きる「リスクコントロール」とは？ ◆世界ではまだ35億人の方がお口の病気にかかっており、日常生活に支障をきたしています。そしてお口の健康はからだ全体の健康にも密接に関係しているため、普段の生活習慣でいかに上手に「リスクコントロール」ができるかが鍵です。そこで、リスクコントロールを効果的に実践するためのポイントを紹介し、日々の生活を充実させる「技」を伝授します。	教授	小川 祐司	要相談	○	○
	9	全学年	臨床歯学	再生医療でよみがえる骨 ◆さまざまな口の病気によってあごの骨は失われます。しかし、生命科学や医療技術の発展によって、失われた骨の再生が可能となってきました。現在行われている最新治療について紹介します。	教授	富原 圭	要相談	○	○
	10	全学年	臨床歯学	むし歯とむし歯治療の行方 ◆むし歯のできるメカニズムと最新の治療指針”診て管理する”を丁寧にわかりやすく説明し、“削って詰める”との決別、夢のあるむし歯治療の行方を皆さんとともに考えたい。	教授	野杵 由一郎	要相談	○	○
	11	全学年	基礎歯学	口から体の健康について考える ◆歯学部で学ぶのは口や歯のことだけだと思いませんか？口はさまざまな臓器と深く結びついて体の機能に関わります。本講義では、最新の研究結果も含めながら、お口の機能を維持することの大切さについてお話し致します。	教授	照沼 美穂	要相談	○	○
	12	全学年	臨床歯学	歯医者さんに行こう ◆年齢とともにヒトは歯を失ってゆきます。しかし、適切な知識・対応で予防することも可能です。実は、お口に何の問題もないと思っている時から、歯医者さんに行くことはとても大切です。それはなぜか？本講義では大人が歯を失う大きな原因である歯周病と生涯の健康について、科学的視点(細菌学・免疫学)からやさしく解説をします。なじみのない歯科医学に接する機会を提供するとともに、学生自身の生涯にわたる健康管理への意識付けを考えて解説をします。	教授	多部田 康一	要相談	○	×
	13	全学年	臨床歯学	歯の治療が怖い方も快適に歯科治療が受けられます！ ◆歯の治療する時には、歯を削る、歯ぐきに注射をする、機械からキーンと音がすることがあり、患者さんにとって歯科は怖いものといった印象があるかもしれません。このように歯の治療が怖い方に対し、「鎮静(ちんせい)」という麻酔の方法を用いて、快適な歯科治療を提供するのが「歯科麻酔科」の仕事です。鎮静を受けた患者さんは怖さを感じにくくなり、時には治療の内容を覚えていないこともあります。この講義では歯科治療時の恐怖を取り除く方法を解説し、また歯科麻酔科の働き方についても紹介します。	教授	岸本 直隆	要相談	○	○

2026年度 新潟大学出前講義一覧

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)	職名	教員氏名	対応可能時期	対面対応可否	Zoom対応可否
				講義概要					
歯学部	14	全学年	基礎・臨床歯学	<p>口腔がんの現状と検診</p> <p>◆口腔がんを知っていますか？以前がんは、中年以降の男女に発生するものが多く見られる疾患でしたが、近年は年齢に関係なく発生するがんが多くなっています。特に20～30歳代でここ10数年で3倍以上に死亡者が増加しているのが口腔がんです。そこで、口腔がんの予防法、治療法および検診について、分かりやすく解説していきます。</p>	教授	田沼 順一	要相談	○	○
	15	全学年	臨床歯学	<p>よく噛むこと・噛めること</p> <p>◆皆さんはふだんの食事をどのくらい噛んで食べていますか？よく噛むことはいいことだと言われていますが、なかなか食事時の咀嚼(噛むこと)を正確に調べることは難しいのです。本講義では咀嚼を検査する最新の手法を紹介するとともに、咀嚼と全身の健康との関係などを分かりやすく解説していきます。</p>	教授	堀 一浩	要相談	○	○